

# 介護保険改悪による負担増決算からも浮き彫りに

## ■保険料負担7億8千万円増

介護保険料が23・3%値上げされ、前年比7億8千万円も増えました。「丁寧に説明し納得していただいた」と言っていますが、納得できなくても、年金天引きで文句も言えないのが現実です。

## ■補足給付制限3600万円

年金が少額でも、預貯金が多い人や配偶者が住民税課税である人と、入所の食費や居住費の軽減対象から外されました。負担増は、8月からの8か月間で3600万円にもなります。

## ■利用料二割4900万円

所得160万円以上の所得上位20%の人は、利用料が2割負担に。8月から4951万円の負担増となりました。

その他にも負担増、給付制限がぞろぞろあります。

政府は再来年の四月から、さらに大幅な改悪を進めようと検討しています。医療費負担も増額を狙っており、「年寄りには早く死んでくれ」という冷たい政治です。「NO」の声をあげていきましょう。

## オートレース8500万円の赤字

オートレース事業の目的は利益を市財政へ繰り出して、市民福祉に役立てることです。昨年度はこれまで減少し続けていた売り上げが、久々に増加(1・2%)したが、8500万円の赤字という結果に。

利益率が低いネットによる投票発売が5割増え、利益率が高いレース場や場外売り場の発売が減少し、赤字になったのです。

「エンジンの轟音を生で聴くのが快感」と言うファンが沢山いたのですが、時代も変わったものです。

市財政に貢献できず、「市民のレジャー」というのなら、公共でやる必要はありません。身近な保育や介護などの仕事は民間に移し、市財政に役立たず、騒音、交通渋滞、家庭不和をまき散らすだけのギャンブルは続けるといふのは大きな矛盾です。

「本来の目的を果たすのは市長の責任」と改善を求めました。



## エピソード 5

「まるで豊洲の様だ。」と言われても仕方が無い事態が、今、伊勢崎市でも起こっています。1万2千食の巨大学校給食調理場計画が立案された過程が、様々な記録から次第に浮かび上がってきました。教育委員会に「市民の声を聞いて…」という、「PTA代表や有識者も入る学校給食運営委員会で聞いている。」という答えが返ってきていました。それなのに、教育委員会は運営委員会に対して、何とパブコメ直前までは素案も資料も示さず口頭で計画を説明し、計画を進めてきたのです。職員だけで構成された庁内検討委員会でさえ、「新しく作るならアレルギー対応室を」と熱心に議論し、先進地視察まで行ったのに、いつ、どこで、誰が変更したのかもわからぬままに、立ち消えに…。パブリックコメントで市民の意見を募集しても、結局何も変わらない。

誰かの「号令」一つで全てが決まってしまう。「お役所仕事」とは、こういうものなのでしょうか？！ (K)

## 無料生活法律相談会

- 弁護士と市議会議員応談します
- 毎月第四月曜日午後6時から
- お申し込みは日本共産党市議へ



北島 元雄 長谷田 公子

24-8410 25-1130  
090-4065-2120 070-5564-6271  
波志江町3626 八幡町44